

中期ビジョン(平成25~27年度)

—震災を乗り越え新たな地域社会の構築に向けて—



仙 台 商 工 会 議 所

<目 次>

「中期ビジョン（平成 25～27 年度）」の策定に当たって	1
仙台商工会議所「中期ビジョン（平成 25～27 年度）」の視点	2
I. 企業活力	3
II. 地域力	4
III. 組織力	6
「中期ビジョン」の策定に向けた検討経過	7
<参考資料> 今後の仙台圏関連の動向について	8

「中期ビジョン（平成25～27年度）」の策定に当たって

当所では、さまざまな社会環境の変化に柔軟に対応し、地域企業の本来持つ"企業力"、仙台の都市づくりを持続的に進める"地域力"、それらを支えていくための"組織力"を強化していくため、平成22～24年度の3カ年にわたる「中期ビジョン」を策定した。

ビジョンの初年度である平成23年3月、東日本大震災が発生したことにより、当初想定し得なかった"震災対応"が事業の主軸となる中にあっても、この"企業活力"、"地域力"、"組織力"という3本の柱を活動指針としている。

今般の「中期ビジョン（平成25～27年度）」は、前ビジョンの基本的な枠組みを引き継ぎつつ、震災復興を念頭に、商工会議所の持つ強みをより一層生かしながら、地域総合経済団体としての役割を果たしていく新たな一步を踏み出すために策定を進めたものである。

新ビジョン策定に際し、我が国が直面している課題に目を向けると、遅々として進まない震災復興をはじめ、長期のデフレや円高、電力・エネルギー問題、社会保障と税の一体改革など、数え上げればきりがないほど問題が山積し、その一つひとつが、日本経済の再生に向けて緊急性を要しているものばかりという状況にある。

被災地においては、少子高齢化に伴う人口・労働力減少などによる地域の疲弊が叫ばれている中で、震災を機に、地域の課題が一気に噴出する形となった。避難や職を求めた人口流出も相次ぎ、自治体存続の危機すら囁かれ、復興に向けた地域経済の再生が喫緊の課題となっている。こうした被災地の諸問題を解決し、日本経済全体の再生につなげていくためには、被災企業の再建、ヒト・モノ・カネが地域内で循環する仕組みづくりが不可欠である。

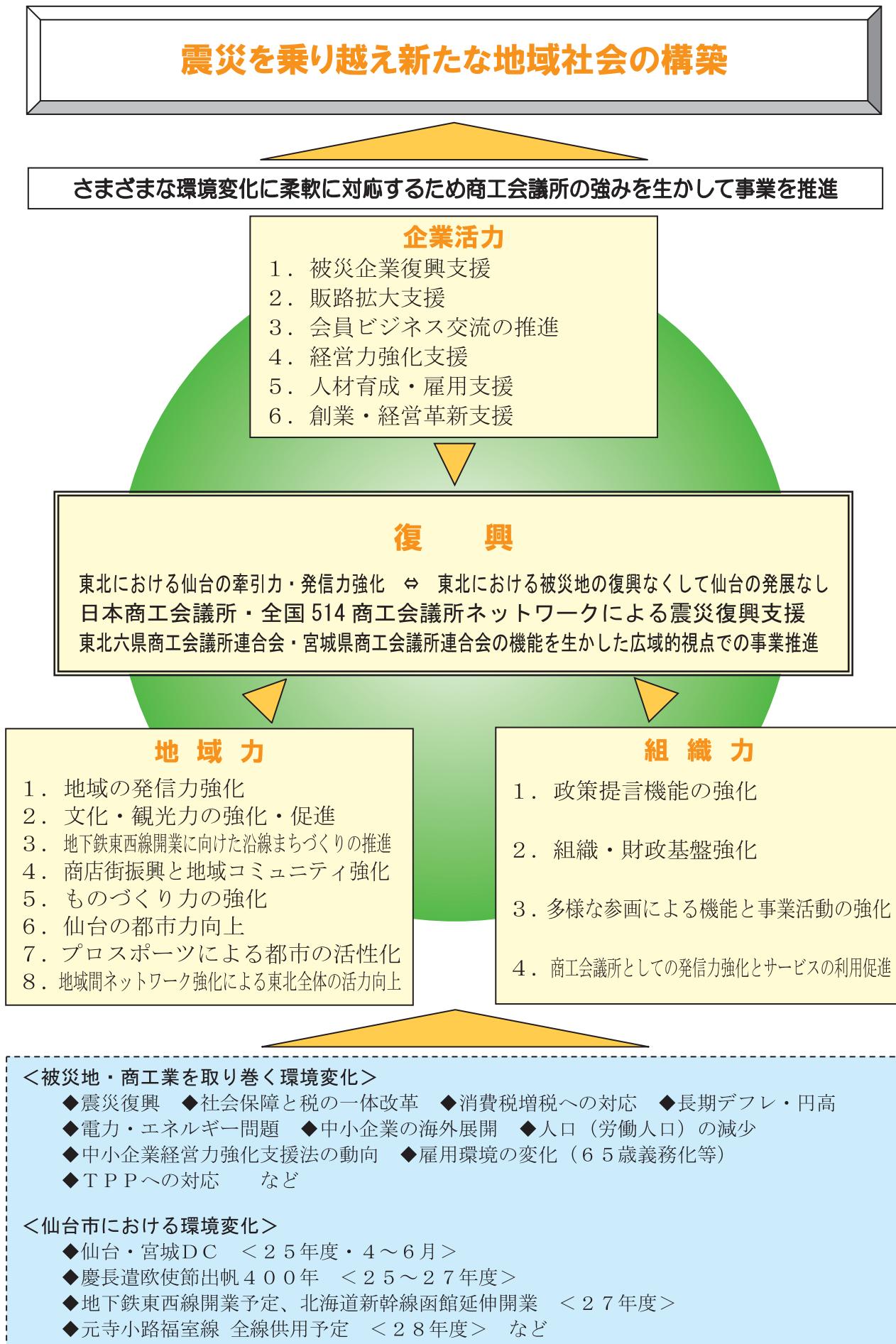
一方、仙台における今後3年間を見れば、被災した東部地域の再整備が進んでいくことに加え、その東部地域と中心部を鉄軌道でつなぐ地下鉄東西線の開通が予定されているなど、東北・宮城を牽引していくため、仙台が持続的に都市力の強化を図っていく上で、大きな転換期を迎える。

当所としては、「東北における被災地の復興なくして仙台の発展なし」という考えに立ち、当所仙台復興推進委員会の提言などを通じ、日本商工会議所および全国514商工会議所のネットワーク、東北六県商工会議所連合会・宮城県商工会議所連合会の機能を最大限活用しながら、「東北における仙台の牽引力・発信力」を一層強化していく。そのことによって、震災復興にとどまらない、新たな東北・宮城・仙台の地域づくりに向けた事業活動を行っていく所存であるので、関係各位におかれでは、引き続きご支援・ご協力をお願いしたい。

平成24年12月25日

仙台商工会議所
会頭 鎌田 宏

仙台商工会議所「中期ビジョン(平成25~27年度)」の視点



I. 企 業 活 力

震災による社屋などへの直接被害、風評などの間接被害の両面から見ると、会員企業は何らかの形で被災しており、今後は、各企業それぞれのニーズを的確にとらえた支援が一層求められている。

また、日本再生の鍵は地域中小企業の活性化にあり、各企業は、自社の強みや創造性を生かし、より付加価値の高いサービス・商品を提供して、収益性を高め、雇用を創出していくことが重要となっている。

そこで、商工会議所は地域に密着した経営支援機関として、高度な専門相談にも応えられるよう、さらなる機能強化を図るとともに金融機関や他の経営支援機関との連携を強化し、商工会議所の重要な機能のひとつである人的・情報交流の拡充に向けて、会員相互のネットワークをより強固なものとしていく必要がある。

以上により、当所では“企業活力”強化のため、次の活動を推進する。

1. 被災企業復興支援

日本商工会議所・全国 5 1 4 商工会議所ネットワークによる遊休機械無償マッチング支援プロジェクトや再生 P C 寄贈プロジェクト、風評被害を払拭するための正確な情報発信など、被災企業の再建に向けた支援を継続的に行っていく。

2. 販路拡大支援

全国の商工会議所ネットワーク、関係団体や企業などとの連携を強化し、ザ・ビジネスモールをはじめとしたウェブサービスなども活用しながら、国内はもとより、海外への販路拡大を推進するため、商談会やビジネスマッチングを通じて企業活動の源である収益性の向上を支援する。

3. 会員ビジネス交流の推進

仙台商工会議所会員が、ビジネスパートナー発掘、人脈拡大などを進めやすいよう、幅広いテーマの交流会を開催するなど会員相互のパートナーシップを強化する。

4. 経営力強化支援

さまざまな経営上の相談にワンストップで対応できるよう窓口機能の強化を図り、マル経融資をはじめとした各種金融支援機能を充実させるとともに、各分野の専門家を配置して地域中小企業の経営をサポートしていく。

5. 人材育成・雇用支援

各種検定試験やセミナー・講習会を実施し、企業活動を支え、グローバル化など企業が求める新たな事業展開にも即応できる人材の育成をサポートするとともに、ジョブ・カード制度の普及などを通じて地元企業が有能な人材を確保できるための雇用支援を推進する。また、各地商工会議所と現地の情報を共有し、企業が被災地において、若年層をはじめとする被災者を安定的に雇用できるよう支援する。

6. 創業・経営革新支援

新たなビジネスチャレンジを、創業の計画時から継続的にサポートするとともに、海外展開や、商工業と農林水産業の連携促進による 6 次産業化の推進、企業の事業継続計画（B C P）の策定支援など、さまざまな経営革新への相談機能を充実させる。また、企業の環境問題・E C Oへの取り組みを推奨し、環境への配慮と地域経済活性化の両立を図る。

Ⅱ. 地域力

全国的に都市間競争が激化する中、今後は、より一層仙台の拠点性を高め、東北全体の地域力を底上げしていくことが重要である。

仙台が、将来にわたり持続的に成長し都市力を高めていくためには、仙台市を取り巻く社会環境の変化に柔軟に対応しつつ、地域資源を有効に活用し、産学官・地域住民が一体となって、活力と賑わいのあるまちづくりを推進していかなければならない。

また、近年、観光振興による交流人口拡大が、地域活性化の鍵を握っており、仙台・宮城はもちろん、東北全体における広域的な地域間連携を推し進め、国内外に情報発信していく必要がある。

被災地では震災の風化防止・風評払拭への取り組みが地域再生に不可欠であり、加えて、地域の産業力を高めることが地域の活力と魅力を創出していくことにつながる。

以上により、当所では“地域力”強化のため、次の活動を推進する。

1. 地域の発信力強化

全国の商工会議所ネットワークの強みを生かし、支店経済とも言われる仙台の特徴でもある転勤者などの人的ネットワークを活用しながら、震災の風化防止に努め、刻々と変化する被災地の状況について正確な情報を継続的に発信していく。

加えて、風評被害を払拭し、安心・安全で魅力ある東北の姿を国内外にアピールするため、東北まつりネットワークや東北六魂祭などによる東北全体の情報発信機能を高めていく。

また、震災の経験を生かし、都市の防災機能を強化するとともに、全国に向けて防災意識の向上を促す。

2. 文化・観光力の強化・促進

今後3年間、仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(H25.4~6月)など、東北各地で観光キャンペーンが開催され、当県においても慶長遣欧使節出帆400年(H25~27)などの記念行事が予定されている。これらを活用し、観光発信拠点としての青葉山・川内周辺の一体整備(仙台城跡・青葉山公園・コンベンション施設など)、“杜の都・仙台”的まちの雰囲気と質の良さに磨きをかけた都市観光の推進、地域全体のホスピタリティ向上などにより、リピーターの増進、インバウンドも含めた交流人口の拡大に努める。

3. 地下鉄東西線開業に向けた沿線まちづくりの推進

平成27年度に開業を予定している地下鉄東西線の整備効果を最大限発揮するため、沿線地域の特徴を生かしつつ、地下鉄南北線やバス路線などと連動した面的な広がりのあるまちづくり、中長期的視点での魅力溢れるまちづくりを推進する。

4. 商店街振興と地域コミュニティ強化

中心部・周辺部それぞれの特色を生かした活気ある商店街づくりを支援する。商店街の活性化が、仙台の賑わい創出に繋がることから、集客力の向上や集客施設の整備促進を支援することで商店街の存在感を高めるとともに、安心・安全なまちづくりの強化と子供から大人までがまちづくりに参画する風土づくりをサポートすることで、震災で発揮した地域コミュニティ拠点としてのさらなる機能向上を図る。

5. ものづくり力の強化

行政や学術機関、各種団体との関係性を密にし、地元製造業の底上げを支援するとともに、企業誘致や6次産業化の推進などを通じて地場産業の活性化を図る。

6. 仙台の都市力向上

仙台空港民営化への対応を図るとともに、港湾機能の強化など産業・都市の発展に不可欠な交通インフラ・災害時にも強い通信インフラの構築など、災害に強いまちづくりを推進する。

また、震災復興・風化防止のシンボルとなるメモリアルホールの建設や、仙台貨物ターミナル駅の移転による物流機能の強化、東北大学雨宮キャンパスの跡地利用などのあり方を提案し、仙台の更なる都市力向上に不可欠な課題解決に取り組む。

7. プロスポーツによる都市の活性化

ベガルタ仙台、東北楽天ゴールデンイーグルス、仙台89ERSなどのプロスポーツが、一層、地域に根ざし、地域とともに発展していくことを支援するとともに、これらをひとつの産業・観光資源ととらえ、交流人口の拡大に生かしていく。

8. 地域間ネットワーク強化による東北全体の活力向上

東北の再生に向けて、被災地や近隣地域との経済的・人的結びつきをさらに強めるため、仙台の牽引力・被災地支援の拠点性を一層強化し、周辺地域と仙台の相乗的な産業活性化を図る。

III. 組織力

“組織力”の強化は、“企業活力”、“地域力”を高めるための土台づくりである。東北最大の地域総合経済団体として、国・県・市に対する声を大にしていくためには、会員数増をはじめとした組織基盤の強化が重要であり、本中期ビジョンと、それを基礎とした事業の推進にあたっては、環境の変化を素早くとらえ、かつ、機動的・能動的に行動できる組織体制が求められる。

また、こうした体制を整えるためには、会員の入会メリットを持続的に高め、その利用を促していくことも必要である。

以上により、当所では“組織力”強化のため、次の活動を推進する。

1. 政策提言機能の強化

地域最大のオピニオンリーダーとして、被災企業・地域のニーズをつぶさにとらえながら、当所仙台復興推進委員会を中心に震災復興につながる具体的な提案を行う。さらに、都市機能を高めるための物流・交通・通信インフラ整備の促進、安全・安価で良質なエネルギーの安定供給、消費税増税への対応、雇用維持など企業活力の基盤となる諸問題について、国・県・市へ強力に要請していく。

2. 組織・財政基盤強化

全所を挙げて、商工会議所の基盤となる会員の増強を進め、3ヵ年で1000会員増加を目指す。また、入会メリットを高め新規入会促進と脱会防止に努めるとともに、事業サービスの利用を一層促すことで、全体的な収益性の向上を図り、中期ビジョンを基礎とした当所事業を推進する上での安定的な財政運営機能を整えていく。

3. 多様な参画による機能と事業活動の強化

業種・業態が多様化する中、部会や委員会などが柔軟かつ効果的に活動できるよう組織機能を高める。

また、役員・議員を軸とし、若手経営者・後継者、女性の視点も生かしながら、さらには会員事業所との接点を増やすことで、会員が主役となる幅広い商工会議所活動を展開する。

4. 商工会議所としての発信力強化とサービスの利用促進

全国の商工会議所ネットワークや報道機関、ウェブなど多様なツールを活用し、全国に向けて震災の風化防止・風評払拭に関する情報を発信していく。

また、月報やホームページはもちろん、地元報道機関などとも連携し、会員企業に対して当所事業のきめ細かな説明に努めるとともに、各種サービスの利用を促し、会員の継続性を高める。

「中期ビジョン(平成25～27年度)」策定に向けた検討経過

1. 議員懇談会

(1) 実施期間：平成24年10月11日(木)～16日(火) 4日間・計6回開催

(2) 出席者：延べ46名

①10月11日(木)13:30～15:30	7名
②10月12日(金)10:00～12:00	7名
③10月12日(金)13:30～15:30	10名
④10月15日(月)10:00～12:00	7名
⑤10月16日(火)10:00～12:00	7名
⑥10月16日(火)13:30～15:30	8名

2. 議員アンケート・ヒアリング

(1) 対象：議員懇談会欠席議員

(2) 実施期間：平成24年10月

(3) 内容：業界の課題・仙台商工会議所として推進していくべき取り組みと仙台商工会議所に期待すること・その他中期ビジョンの策定に関する意見

(4) 回答数：19件(内ヒアリング6件)

3. 「中期ビジョン」策定に向けた検討会

(1) 日時：平成24年11月13日(火)12:00～13:30

(2) 出席者：11名(他、アンケートによる回答1件)

(3) 検討委員(氏名五十音順)

仙台商工会議所 副会頭	庄子 正文
仙台商工会議所 副会頭	渡辺 静吉
セルコホーム(株)	新本 恭雄
(株)ビイエム ケイセイ	石川 清紀
東北放送(株)	一力 敦彦
リードホーム(株)	大城 秀峰
(株)奥田金物本店	奥田 潤一
感動ホームズ(株)	片桐 健司
(株)瀬戸屋	金野 伸介
東洋刃物(株)	庄子 公侑
中央通り連合会	鈴木 泰爾
(株)藤崎	田中 昌志
(有)中村旅館 ホテルセントラル仙台	中村 兼久
杜の都信用金庫	中山 智之
仙台ターミナルビル(株)	新妻 博敏
(有)ひらが	平賀 ノブ
(株)金港堂	藤原 直

4. 執行部会

(1) 日時：平成24年11月27日(火)12:00～14:00

(2) 出席者：6名

5. 11月定例常議員会

(1) 日時：平成24年11月27日(火)14:00～15:00

(2) 出席者：32名

6. 12月定例常議員会・臨時議員総会

(1) 日時：平成24年12月25日(火)14:00～15:00

(2) 出席者：74名

<参考資料> 今後の仙台圏関連の動向について

(平成24年12月1日現在) 仙台商工会議所

年度	月	地域の動向
24年度 (2012年度)	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・東北観光博開催 (H24.3.18～H25.3.31) ・平成24年度仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン開催 (4～6月) ・常磐自動車道「南相馬IC～相馬IC間(14.4km)供用開始 (4/8) ・第12回世界旅行ツーリズム(WTTC)総会・関連会議 (4/16～4/19、16～17関連会議仙台にて開催) ・いわてデスティネーションキャンペーン開催 (4月～6月)
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台国際ハーフマラソン第22回大会 (5/13) (1万人規模に拡大して開催) ・仙台空港国際定期便ソウル線 週7往復に増便 (5/21～)
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県と中国吉林省の友好交流25周年
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・世界防災閣僚会議開催 (外務省:仙台国際センターほか, 7/3～7/4) ・夢メッセみやぎ再オープン(バント第一弾はとうほく自動車フェスタ(7/20～7/29))
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台空港国際定期便グアム線 週4往復に増便(10/1～) ・仙台市宮城野区文化センターオープン (10/1) ・国際通貨基金(IMF)・世界銀行年次総会ほか関連イベント開催(東京10/9～14) 仙台市内で「防災と開発に関する仙台会合」(ウェスティンホテル仙台10/9～10)開催 ・ねんりんピック宮城・仙台2012開催(10/13～16) ・ゼビオアリーナオープン (10/5～あすと長町、最大収容人数約6,000人) ・仙台塩釜港・松島港・石巻港3港の統合一体化 (10/17)
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台東部道路「仙台港IC」供用開始 (12/1)
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台塩釜港高砂コンテナターミナル全面復旧予定
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台・宮城デスティネーションキャンペーン開催 (4～6月) ・劇団四季「キャッツ」ロングラン公演 (4月～)
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・日韓商工会議所首脳会議 (6/10～11)
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・全国商工会議所観光振興大会 in いわて (7/4～6) ※本大会・大交流会7/5
25年度 (2013年度)	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・全国商工会議所女性会連合会全国大会開催 (9/5～6)
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田デスティネーションキャンペーン (10～12月) ・支倉常長慶長遣欧使節出帆「400年節目の年」(1613年 石巻月ノ浦出帆 (10/28))
	時期未定	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台北部道路「富谷JCT～富谷IC(仮称)」供用開始予定 ・(仮称)仙台一番町駅ビルプロジェクト(仙台市青葉区一番町二丁目)年度末完成予定
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・第30回仙台・青葉まつり
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・山形デスティネーションキャンペーン (6/14～9/13)
26年度 (2014年度)	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・楽天イーグルス誕生10周年 ・仙台89ERS誕生10周年 ・仙台空港(民間航空機就航)開港50年(昭和39年開港)
	時期未定	<ul style="list-style-type: none"> ・常磐自動車道「相馬IC(仮称)～山元IC(仮称)間(23.3km)供用開始予定 ・北陸新幹線金沢開業予定
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台七夕まつり戦後復活70回目
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・光のページェント(30回目)
27年度 (2015年度)	時期未定	<ul style="list-style-type: none"> ・東北新幹線・北海道新幹線 函館延伸予定 ・(仮称)仙台駅東口開発計画「東西自由通路(幅員16m)・商業施設(地上6階)」完成予定 ・2015年開催の国連防災世界会議を仙台・東北に誘致 ・仙台市地下鉄東西線開業予定 ・JR仙石線全線運転再開予定
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・支倉常長慶長遣欧使節ローマ法王謁見400周年(日本人として初めてラテン語の土を踏んで400周年)
28年度 (2016年度)	時期未定	<ul style="list-style-type: none"> ・元寺小路福室線「宮城野橋(通称:X橋)工区・五輪工区」供用予定
29年度 (2017年度)	時期未定	<ul style="list-style-type: none"> ・JR東日本(仮称)仙台駅東口開発計画「宿泊施設(地上14階・地下2階)・業務施設(地上14階)」等完成予定(～30年度)

発行日 平成24年12月25日

発行 仙台商工会議所
〒980-8414 仙台市青葉区本町2-16-12
電話 022-265-8182
URL <http://www.sendaicci.or.jp>